

安全性データシート

改定日: 2023年4月25日

前作成日: -

SDS番号: 483

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

ARC SF-1, ARC BA-1

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: トップコートと散布型コーティングシステム用の骨材。

使用上の制限: 情報なし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

がん原性、区分 1A, H350i

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)、区分 1, H372 (肺、腎臓、吸入)

2.1.2. 追加情報

H (危険) ステートメントの全文: セクション 2.2 および 16 を参照。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報: H350i

吸入により癌を引き起こす可能性。

H372

吸入による長期または反復ばく露により、肺、腎臓に損傷を引き起こします。

使用上の注意：	P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
	P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
	P260	粉じんを吸入しないこと。
	P264	使用后、手を充分洗浄してください。
	P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	P280	保護眼鏡を着用すること。
	P308/313	暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
	P405	施錠して保管すること。
P501	地方自治体、国の規制に従って内容物を廃棄してください。	

補足情報： なし

### 2.3. その他の危険性

安全・健康障害の詳細は成分ごとに別紙に記載してあります。硬化物質は最終的に無害とされています。機械加工の際は、A剤、B剤、C剤の安全データシートの注意事項を参照してください。

## セクション 3： 組成、成分情報

### 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号	GHS分類
シリカ(石英)	98 - <100	14808-60-7	発がん性 1A, H350i STOT 反復暴露 1, H372 (肺、吸入)
その他の成分:			
酸化アルミニウム	<1.1	1344-28-1	分類されていません*

H(危険)ステートメントの全文：セクション2.2および16を参照。

\*職場での暴露限界のある物質。

<sup>1</sup>分類基準：労働安全衛生法、毒物および劇物取締法、GHS

## セクション 4： 応急処置

### 4.1. 応急処置情報

吸入： 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚への付着： 適応せず

目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

呑み込んだ場合： 適応せず

応急手当を行う人の保護： 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。通気が不十分なところでは、適切な呼吸用具を使用してください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

### 4.2. 最も重要な徴候と影響(急性および遅延)

慢性の空咳、痰の発生、息切れ、喘鳴、肺機能の低下。

### 4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

**セクション 5： 火災時の処置****5.1. 消火剤**

**適切な消火剤：** 非引火性。周辺火事用の消火媒体を使用してください。

**不適切消火剤：** 既知の影響なし

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

**有害な燃焼生成物：** なし

**その他の危険性：** なし

**5.3. 消防の際のアドバイス**

粉塵が空気中に放出される場所では呼吸器系の保護具を使用してください。

**セクション 6： 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

粉塵を生成しないようにしてください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**6.2. 環境に対する注意**

条件は特になし。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

塵はHEPAフィルター付きの掃除機で取除くか、湿った布で拭取ってください。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7： 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

粉じんを吸入しないこと。粉塵を空気中に放出しないようにしてください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。呼吸可能な結晶シリカの粉塵は空気中で目に見えません。バルク製品の袋の破損や流出に対しては通常の注意に従ってください。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗ってください。使用後、手を充分洗浄してください。

**7.2. 安全な保管のための条件（配合禁忌を含む）**

容器の蓋を閉めて保管してください。熱や湿気のない所に保管してください。作業区域での粉塵の蓄積を防ぐために保管場所、使用領域のメンテナンスを確実にしてください。石英は、フッ酸、フッ素、三フッ化塩素あるいは二フッ化酸素などの強力酸化剤とは不適合です。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

**セクション 8： 暴露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
シリカ(石英)	(吸引可能)	0.03 (上限)	(吸引可能)	0.025
酸化アルミニウム	(吸引可能)	2	(吸引可能)	1
	(総塵)	8		

**生物学的限界値**

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

**8.2. 曝露制限****8.2.1. 設備対策**

粉塵を空气中に放出しないようにしてください。充填時、回収時を含み、粉塵が空气中に放出される場所では囲いを立て、適切な排気換気機構を使用してください。社内の対策に従ってください。例：社員を粉塵発生領域から隔離する。

**8.2.2. 作業員の保護対策**

**呼吸器系の保護：** 許容限界を超える場合は、認可された微粒子粉塵呼吸マスクを使用してください。

**手袋：** 皮膚炎や過敏な皮膚などの既往症のある作業員は、手を保護することを奨励します（例：手袋、バリアークリーム）。

**目 / 顔の保護：** 安全メガネ

**その他：** なし

**8.2.3. 環境暴露措置**

風散布は避けてください。

**セクション 9： 物理的及び化学的性質****9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	粉末	pH	適応せず
色	白、グレー あるいは 黄褐色	動粘	適応せず
臭気	なし	水溶性	不溶性
においの閾値	適応せず	分配係数:n- オクタノール/水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	2230° C	20°Cでの蒸気圧	適応せず
融点・凝固点	1710° C	相対密度	2.65 kg/l
揮発率%(容量比)	0%	蒸気密度(空気=1)	適応せず
引火性	不燃性	蒸発率(エーテル=1)	適応せず
高/低引火性あるいは高/ 低爆発限界	適応せず	重量比芳香物含有率 (%)	0%
引火点	適応せず	爆発性	適応せず
方法	PM閉カップ	酸化性	適応せず
自己発火温度	適応せず	粒子特性	データなし
分解温度	適応せず		

**9.2. その他の情報**

なし

**セクション 10： 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

**10.2. 化学的安定性**

安定

**10.3. 危険な反応の可能性**

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

**10.4. 避けるべき条件**

なし

**10.5. 配合禁忌薬品**

フッ素、塩素、三フッ化物、三酸化マンガン、ニフッ化酸素などの強力酸化剤は火災を起こすことがあります。

**10.6. 危険な分解物**

なし

**セクション 11: 有害性情報****11.1. 毒性影響に関する情報**

**通常使用時の主な接触経路:** 吸引。既往性慢性呼吸器疾患のある作業員が晒されると、一般に症状が悪化します。

**急性毒性 -**

**経口:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
シリカ(石英)	致死量50(LD50)、ラット	> 22,500 mg/kg
酸化アルミニウム	致死量50(LD50)、ラット	> 5,000 mg/kg

**経皮:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**吸入:** 激しい毒性はないとされています。これは類似物質のデータに基づいています。

**皮膚腐食性/刺激性:** 炎症なし (OECD 404)。

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:** 炎症なし (OECD 405)。

**呼吸器または皮膚の感作:** 周知の重大な影響はありません。

**胚細胞突然変異原性:** 石英は主にその炎症効果のために遺伝毒性や変異効果があります。呼吸可能な石英は、試験管内のラットの肺上皮細胞に、HPRT突然変異を起こすことはできませんでした。

**がん原性:** 国際がん研究機関 (IARC) と国家毒性プログラム (NTP) は吸引シリカを発ガン性物質に分類しています。

**生殖毒性:** 生殖毒性物質ではないとされています。

**STOT - 単回暴露:** 不確定なデータ。

**STOT - 反復暴露:** 呼吸可能な遊離シリカを繰り返し吸引すると、咳や息切れとともに肺に損傷を与えることがあります。珪肺症(遅発肺疾患で肺線維症の一種、機能不順を徐々に死にいたることもある)が生じることがあります。呼吸性吸入ばく露における、結晶性シリカと腎(腎臓)および全身性自己免疫疾患(強皮症、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス)のリスク増加との関連を示唆する実質的な証拠があります。

**吸引性呼吸器有害性:** 吸引毒物ではないとされています。

**その他の情報:** なし

**セクション 12: 環境影響情報**

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

**12.1. 毒性**

本製品は水生生物、土壌生物に対して低度の有害性を与えるとされています。

**12.2. 持続性・分解性**

無機物質、天然に存在。

**12.3. 生物蓄積の可能性**

生体内蓄積は有りません。

**12.4. 土壤中の移動性**

土壌内の移動性がないとされています。

**12.5. その他の悪影響**

既知の影響なし

**セクション 13: 廃棄上の注意****13.1. 廃棄処理方法**

未使用の製品は規制対象の危険廃棄物ではありません。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

**セクション 14: 輸送上の注意****14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

**14.2. UN固有輸送名**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

**14.3. 輸送危険性分類**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

**14.4. 梱包グループ**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

**14.5. 環境への危険性**

適応せず

**14.6. ユーザーへの特別な注意**

適応せず

**14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード**

適応せず

**14.8. その他の情報**

適応せず

**セクション 15: 適用法令****15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR

クラスI薬品:

なし

クラスII薬品:

なし

その他の国内規制:

労働安全衛生法(安衛法)

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物: シリカ(石英)、酸化アルミニウム

水質汚濁防止法

指定物質: 酸化アルミニウム

## セクション 16: その他の情報

**略語一覧:** ACGIH: 米国産業衛生専門家会議  
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE: 急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 GHS: 世界調和システム  
 ICAO: 国際民間航空機関  
 IMDG: 国際海上危険物規定  
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL: 最小作用量  
 NOEC: 最大無作用濃度  
 NOEL: 最大無作用量  
 N/A: 該当せず  
 PEL: 許容暴露限度  
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS: 安全性データシート  
 STEL: 短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TLV: 暴露限界  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)  
 化学分類および情報データベース (CCID)

## GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
発がん性 1A, H350i	算出方法
STOT 反復暴露 1, H372	算出方法

**関連するH(危険)-ステートメント:** H350i: 吸入により癌を引き起こす可能性。  
 H372: 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害。

**その他の情報:** なし

**本改訂によるSDSの変更:** 原本。

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。  
 使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。